

# 鹿山會

千葉県立佐倉高等学校同窓会  
 鹿山会事務局（佐倉高校内）  
 〒285-0033 千葉県佐倉市鍋山町 18  
 電話/043-484-1021 Fax/043-486-0903  
 URL <http://rokuzan.gozaru.jp/>  
 平成17年7月30日（土） 第1号

## 「第五十五回総会を迎えて」

佐倉高等学校鹿山会  
 会長 鈴木 博



被災の候、皆様には、益々、ご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。

昨年の七月総会にて、七代目の鹿山会会長に就任以来、同窓生皆様はじめ多くの学校関係者にご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。又、会場を学び舎からホテルにかえて準備を進めて参りました第五十五回総会が、皆様のご臨席を賜り盛大に行われます事、併せて感謝申し上げます。私は、池田内閣が打ち出した所得倍増計画のもと高度成長を是とした時代に本校を卒業、後昭和四十二年には、我が国国民総生産が西独を抜いて米国に次ぎ自由世界第二位の経済大国となった時代を過ごしてまいりましたが、概ね十五年に及ぶ経済不況の中に、国民生活に及ぶ各種の問題が顕在化され、改革の名の下に色々の施策が行われようとしております。この様な変化の時代にあたり、本校を母校とする皆様の総意と結束の必要な時を感じます。本校鹿山会では、設立趣旨に沿った事業活動を主体に推進する他に、二つの事業を掲げ、活動方針を明確に致しましたひとつは、一昨年より継続されておりました鹿山文庫の修理保存に広報活動を加えての長期的事業であります。もうひとつは、三月十八日の新聞等に掲載されました佐倉高校記念館が国の文化審議会より文部科学大臣に対し登録有形文化財とする旨の答申がなされた事に対する記念館の保存関連事業であります。

これらの事業は、藩校創立から二百十余年の歴史を持つ伝統校だからこそその歴史をもち、鹿山会として、千葉県の教育施設としての佐倉高校と常に連帯意識をもち、温故知新の精神を鹿山会会員皆様と持ち続けて参りたいと思っております。県財政の厳しい状況下に於いての卒業同窓生としての果たすべき役割を皆様と共に考えて参りたいと思っております。明治三十三年に佐倉中学校同窓会として発足、県立移管当時に鹿山会と改称された歴史と伝統としてその当時の先輩同窓生の心意気を思いつ、会員皆様のご協力を願うばかりでありません。今後ともご指導ご鞭撻のほど、お願い申し上げますと共に、鹿山会会員皆様のご健勝とご活躍をご祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

## 「鹿山会会報によせて」

県立佐倉高等学校  
 校長 須田 繁



『鹿山会会報』創刊号の発行、おめでとございます。母校・佐倉高校の『現在』についてお伝えいたします。

生徒は、毎朝「おはよう」と元氣な挨拶を交わしながら鍋山の坂道を登って来ます。学校は多くの木立に囲まれ、落ち着いた環境の中にあります。今でも、進路指導室や保健室等として使用されている木造校舎は、建設以来九〇有余年の歴史を刻み、現在では『記念館』と呼ばれております。この記念館は、明治の木造洋風建築としての価値を認められ、今年三月、国の文化審議会から、登録有形文化財に登録するよう文部科学大臣に答申されました。一日も早

い登録を期待しております。

卒業生諸氏の活躍により、本校は北総の地の教育の殿堂として輝かしい伝統を築き、現在、広範な地域から、多くの優れた若者が、佐倉高校で学びたいと高い志をもって集まっております。生徒たちは、歴史を身近に感じながら、学問の雰囲気や日々呼吸しつつ『文武両道』を目指し、『オランダ派遣』など国際交流にも積極的に取り組んでおります。

本校は、今、大きく変わるうとしております。平成十二年度から二期制を実施しておりますが、生徒一人一人の自己実現に向け、さらなる進学実績の向上を目指し、今年度から、進学対応単位制高等学校として『新たな出発』をいたしました。

従来より授業時数を三時間増やし、週三十三時間授業の実施など、学力の一層の向上に努めております。

また、学校独自問題による入学者選抜の実施など、『特色ある学校づくり』にも教職員一丸となって取り組んでいるところであります。

佐倉高校は、意欲溢れる生徒と熱い心をもって指導する教職員によって構成されております。

皆様、時には母校をお訪ねください。そして、母校発展のため、ご支援ご協力をいただければと願っております。

## 「PTAも強力な支援体制で」

佐倉高等学校PTA  
 会長 細谷 幸平



過日、鍋山祭が開催されました。我がPTAも、総力を挙げて、バザーを出店しました。家庭に眠っている物資を献品していただき、その

売上を佐倉高に寄付しようという構想です。父兄は勿論ですが、鹿山会の諸先輩にご援助いただき、思いもよらぬ大きな寄付原資ができました。未だに、鹿山会に支えられていることを実感させられ、諸先輩方には、感謝の念に堪えません。

国の登録有形文化財に登録するよう答申されている記念館は、筑後百年を経過しますが、未だに、校長室事務室、応接室、保健室として生き続けています。役目柄、記念館を往來しますが、木の色調、床の鳴る音、ドアノブの温度、どれも心に響くものが、呼吸が整います。この学校は、別物だなど、ゆるがせにできないなど、心の底から思います。

我が子達は、歴史の先頭に立たせていただいています。先輩がたの足跡を汚さず、思いを絶やさず、学校生活を送って欲しいと願っています。佐倉高は毎年、数百名の鹿山会員を輩出しています。鹿山会が結束するなら、地域の一大有志となります。地域から輩出した子どもたちが、鹿山会というまとまりの中で、地域に貢献して行くなら、それは、親として誇らしいことだと思えます。

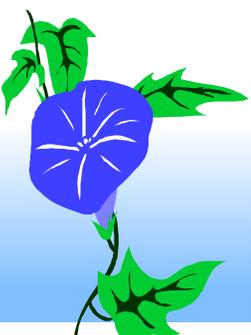
## 「佐倉高記念館の保存に向けて」

県立佐倉高等学校記念館  
 修理促進の会会長  
 佐倉市長 渡貫 博孝



平成十四年四月、前任の越川雄次郎校長が就任すると、県教育庁に対し文化財としての保存と、速やかな修理実施を粘り強く要請した結果、現地調査が実施されました。この調査によって、永年の風雪に耐えながらも建物外周の劣化が進み、とりわけ柱と基礎部分が著しく腐朽している状況を改めて認識することとなりました。その後、当時の谷田部満会長はじめ役員が対応を協議した結果、「県立佐倉高等学校記念館修理促進の会」を結成すること、要望書を知事宛に提出することを決めたとの報告を受け、微力ながら会長を私がお引き受けすることとなりました。平成十六年六月、堂本県知事に面会し、保存を要請しました。知事は、財政的に厳しくとも、同窓会や市民の協力も得ながら、文化財として残すべきとの見解を示されました。密本俊一県議も、県教育庁へ国の登録文化財の可能性を熱心に打診されました。今年一月、県教育委員会から登録文化財推薦書の提出を受け、文化庁は現地調査を行いました。文化財の審議機関である文化審議会は三月、文部科学大臣に対し、文化財登録原簿に登録するよう答申しました。以上がこれまでの経過です。

平成十四年四月、前任の越川雄次郎校長が就任すると、県教育庁に対し文化財としての保存と、速やかな修理実施を粘り強く要請した結果、現地調査が実施されました。この調査によって、永年の風雪に耐えながらも建物外周の劣化が進み、とりわけ柱と基礎部分が著しく腐朽している状況を改めて認識することとなりました。その後、当時の谷田部満会長はじめ役員が対応を協議した結果、「県立佐倉高等学校記念館修理促進の会」を結成すること、要望書を知事宛に提出することを決めたとの報告を受け、微力ながら会長を私がお引き受けすることとなりました。平成十六年六月、堂本県知事に面会し、保存を要請しました。知事は、財政的に厳しくとも、同窓会や市民の協力も得ながら、文化財として残すべきとの見解を示されました。密本俊一県議も、県教育庁へ国の登録文化財の可能性を熱心に打診されました。今年一月、県教育委員会から登録文化財推薦書の提出を受け、文化庁は現地調査を行いました。文化財の審議機関である文化審議会は三月、文部科学大臣に対し、文化財登録原簿に登録するよう答申しました。以上がこれまでの経過です。



「鍋山祭」

今年は、君も鍋山流だろっ？  
という統一テーマを掲げて七月一日(金)に校内発表が行われ翌日の七月二日(土)には一般公開され一人名を超える人でにぎわいました。一日目の一般公開日には地域交流棟でPTAによるバザーも開かれて大盛況でした。



参加団体は、一五のクラスとPTA、A、書道部、美術部、工芸部...等で合計四二団体を数えました。発表内容は、演劇(二二団体)、飲食店(三団体)の他、縁日や研究発表、お化け屋敷：等々多岐にわたっています。  
また今年は、校内発表の日に中夜祭が行われ多数の生徒が参加し例年以上に大盛り上がりしました。

演劇は、喜劇、ミュージカル、感動もの...等、皆できばえがよくかなり待たないと観られない状況でした。



研究発表部門では、ホバークラフトや熱気球等を作成した団体がありました。特に、ホバークラフトが人を乗せ床から浮き上がり広い会場を自由に動き回っていたのが印象的でした。



普段は、部活、勉強等に頑張っている生徒たちですが、約一ヶ月の準備でこれだけの発表ができる...感動しました

「部活動」

【ラグビー部】

関東都府対抗戦

Bブロック優勝

千葉県代表選手

岩立 洋祐(3年)

宮川 和也(3年)

森川 海斗(2年)

関東大会千葉県予選

ベスト4

関東大会出場

2年ぶり7回目

Fブロック第3位

【男子バレーボール部】

関東大会千葉県予選

第7位

千葉県高等学校総合体育大会

第5位



【女子バレーボール部】

和田栞 準優勝

【ソフトボール部】

千葉県高等学校総合体育大会

ベスト8

【レスリング部】

関東レスリング大会

SS級 小川 翔太(2年)

ベスト十六

関東大会県予選

フリースタイル

SS級 3位

準優勝

小川 翔太(2年)

(関東大会出場)

グレコローマンスタイル

SS級 準優勝

岡田 亮(2年)

SS級 3位

平田 康一(2年)

SS級 4位

小川 翔太(2年)

SS級 4位

岡田 亮(2年)

(全国総体補欠登録選手)

学校対抗戦(団体戦) 5位

【カヌー部】

第2回関東高等学校

カヌー大会

男子ボウ競技の部 2位

カヌースロラム

1位 高橋麻衣子(3年)

2位 大澤真奈美(3年)

3位 中鉢 大介(3年)

3位 本橋 聖瑠(2年)

4位 高瀬 葵(3年)

5位 篠生 容子(3年)

6位 田村 泰介(3年)

【美術部】

第9回全日本学生美術展

佳作入賞

高橋 有希(3年)

その他4名入選

「鹿山会歓迎迎会」

このたび、母校が進学対応単位制移行に伴う教育課程や記念館が国の登録文化財財答申されるにあたり学校サイドからいろいろとご尽力をいただいた前教頭の木村修先生、母校の教育環境の整備に大変ご苦労をいただいた松田縋子前事務局長、授業や部活動を熱心に指導され、このたび定年を迎え退職された校内幹事の川崎繁先生、以上三名の先生方への送別と、新たに着任された藤枝隆教頭先生と渡辺事務局長、昭和六十年に母校を卒業された金田幸夫先生への歓迎を込め五月二十七日に玉家で歓迎迎会が行われました。



異動 退職された先生方・着任された先生方・鹿山会の会長はじめ役員の方々・校内幹事含めて親睦を深めることができました。

「鹿山会常任委員会」

母校の地域交流棟一階研修室で六月二六日午後二時から第五十五回鹿山会常任委員会が開催されました。蒸し暑い中でしたが約三十名の会員の方に参加をいただいて行われました。  
開会のあと、鈴木博鹿山会会長からご挨拶があり、つづいて、須田繁校長から、母校の近況を含めてご挨拶をいただきました。  
内容は、叙勲・褒章受章者の顕彰、平成十六年度事業報告・収支決算報告、平成十七年度事業計画(案)・予算(案)、また現在顧問である母校校長を副会長に、また前鹿山会会長の谷田部満様を顧問に...という事が話し合われ承認されました。

